

道東支部 令和8年網走地区漁船組合員大会（網走地区沖合底曳網漁船）

2月5日の14時30分から網走地区漁船組合員大会を網走漁協大ホールで開催し、網走地区沖合底曳網漁船3隻の組合員21人が出席した。

漁船組合員大会では、はじめに山崎秀和北海道地方支部長があいさつを行い、清水誠道東支部長が議事を進め、報告事項として道内・沖合底曳網漁船の現状と当地区沖底船に関する取り組みなどを報告した。その後、現場組合員との質疑応答で理解を深めた。

審議事項の令和8年度労働協約改定要求案については、出席した現場組合員から▽基本給改定の継続▽働き方改革として連休新設▽退職金の担保措置一などの意見があった。

組合要求は、これらの現場組合員の意見と2月17日開催の水産部委員会の決定を踏まえて策定することとし、要求書の提出は、労働協約書の改廃1カ月前の2月27日に、網走漁協底曳部会長あてに提出することを確認し、その他意見交換の後、網走地区漁船組合員大会を終了した。

組合員大会の直前には、各船の船頭との懇談会を開催し、意見交換では▽スルメイカなどTAC関係▽道内各地の漁模様▽違法カニかごの現状と対策▽物価高騰による船主の考え▽賃金と休日▽日本人後継者と特定技能外国人▽夏場の熱中症対策▽北海道内イオン・タラ販促CM撮影と放映などについて理解を深めた。

また、網走地区安全衛生講習会も開催し、網走市保健センターから講師を招き、「こころとからだの健康管理」を学んだ。

「海員だより」